

漁海況速報

No.1

平成23年1月14日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

宮城県水産技術総合センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水は本県海域の50海里付近に波及しているが目立った低水温はみられず、10℃～11℃台が広く分布している。
- ②黒潮系暖水の勢力は極めて弱く、本県沿岸域への目立った波及はみられない。
- ③定地水温は、小名浜、大熊では平年より1℃低く、松川浦では平年並み。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水は現状並みの勢力で波及するでしょう。
- ・黒潮系暖水の勢力は現状並みに弱いでしょう。

今年も県内漁協を始め関係機関のご協力を頂きながら漁海況速報を発行いたします。よろしくお願い申し上げます。

漁海況速報について

1 表面水温分布図

前週金曜日から発行日前日までの船舶の実測水温及び人工衛星による表面水温値を用いて作図を行っています。

2 定地水温

小名浜: みさき公園下から揚水し、水産試験場内に貯水された海水の水温を計測しています(午前9時)。

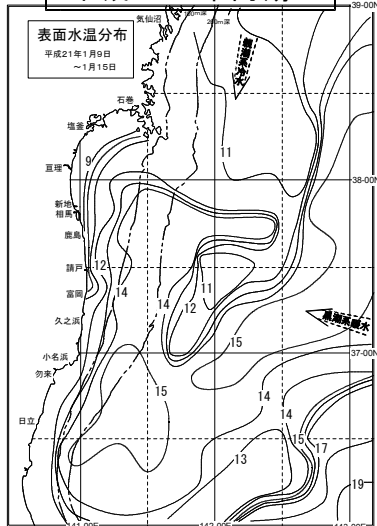
大熊: 福島第一原発取水口から揚水し、水産種苗研究所内に貯水された海水の水温を計測しています(午前9時)。

松川浦: 湾口部の表層海水を採水し水温を計測しています(午前10時)。

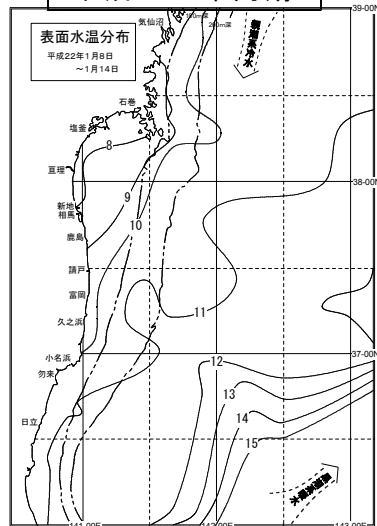
3 漁況概況

前週木曜日から翌週水曜日までの水揚げ情報を県内各漁協から収集し、水揚げ量及び金額の高い魚種を掲載しています。

平成21年同期



平成22年同期



定地・定点水温の推移(℃)

場所	小名浜	大熊	松川浦
月日			
1/7	10.5	10.3	8.0
1/10	—	—	—
1/11	10.0	9.2	7.3
1/12	9.3	8.9	7.6
1/13	9.8	9.1	7.1

表面水温分布

平成23年1月7日
~1月13日

気仙沼

100m深
200m深

親潮系冷水

石巻

塩釜

亘理

新地
相馬

鹿島

請戸

富岡

久之浜

小名浜

勿来

日立

39-00N

38-00N

37-00N

141-00E

142-00E

143-00E

8

9

10

11

12

13

14

15

漁海況速報

No.2

平成23年1月21日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

宮城県水産技術総合センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水は前週よりやや勢力を強め、本県海域の50海里付近に9℃台が波及している。
- ②黒潮系暖水の勢力は弱く、本県沿岸域への目立った波及はみられない。
- ③定地水温は、小名浜、大熊、松川浦とも前週より1℃降温した。小名浜、大熊では平年より2℃低く、松川浦では平年より1℃低い。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の勢力は現状並みかやや強まるでしょう。
- ・黒潮系暖水の勢力は現状並みに弱いでしょう。

海洋観測結果(平成23年1月)

・平成23年1月11日～13日に調査船「拓水」で実施した海洋観測結果についてお知らせします。

- ・本県海域には南部の塩屋崎沖まで親潮系冷水が波及し、水温は表層及び100m深とも前月に比べ大きく降温しました。
- ・塩屋崎では30～50海里で平年よりやや低め～低めの値が観測され、他の定点でも低め基調でした。
- ・富岡及び鵜ノ尾埼では概ね平年並みの値が観測されました。
- ・海域全体では平年並み(低め基調)となりました。

(単位:℃)

観測水深	定線	観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	10.81	-0.24	-1.71
	富岡	10.58	-0.13	-0.86
	鵜ノ尾	10.18	+1.92	+0.06
	全体	10.54	+0.55	-0.89
100m深	塩屋	10.63	+0.62	-0.75
	富岡	11.12	+0.48	-0.04
	鵜ノ尾	10.10	+2.28	+0.18
	全体	10.56	+1.02	-0.43

[平年差の表現基準]

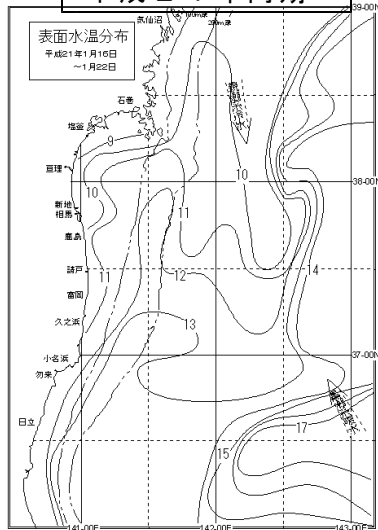
平年並み	0～±0.9℃
やや高め(低め)	±1.0～2.4℃
高め(低め)	±2.5～3.9℃
極めて高め(低め)	±4.0℃～

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

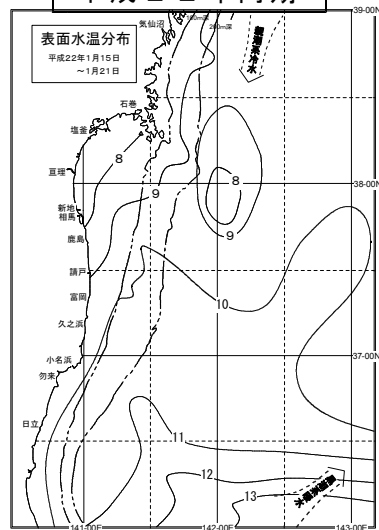
定地・定点水温の推移(℃)

場所	小名浜	大熊	松川浦
月日			
1/14	9.0	9.0	7.4
1/17	8.8	7.8	6.4
1/18	9.2	8.1	5.9
1/19	9.0	8.4	6.5
1/20	9.1	7.6	6.6

平成21年同期



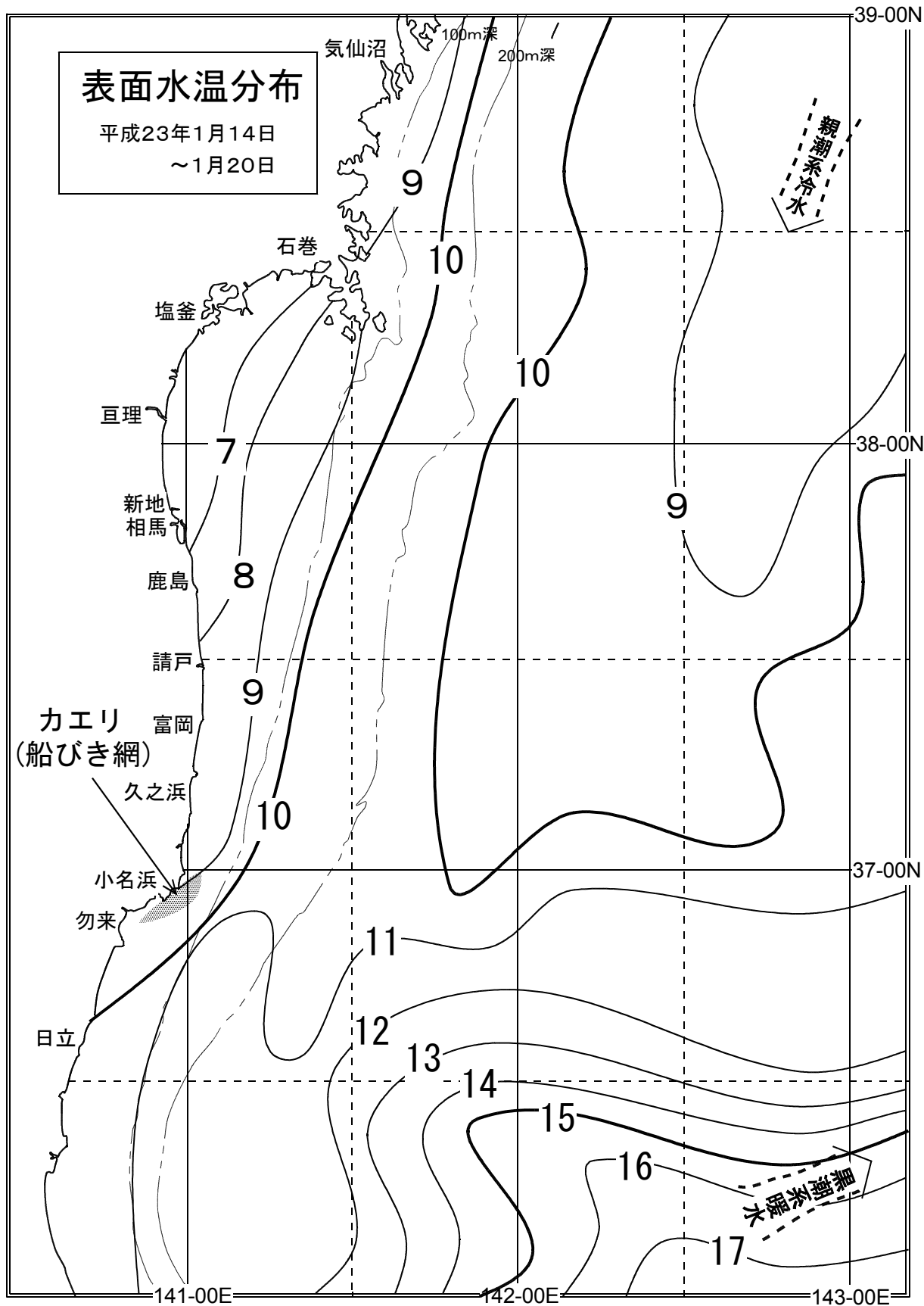
平成22年同期



表面水温分布

平成23年1月14日

～1月20日



漁海況速報

No.3

平成23年1月28日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

宮城県水産技術総合センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水は前週より勢力を強め、本県南部海域の20海里付近まで8℃台が波及している。
- ②黒潮系暖水の勢力は弱く、本県沿岸域への目立った波及はみられない。
- ③定地水温は、小名浜、大熊では前週より1℃降温し、松川浦では前週並み。小名浜、大熊では平年より2℃低く、松川浦では平年より1℃低い。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の勢力は現状並みかやや強まるでしょう。
- ・黒潮系暖水の勢力は現状並みに弱いでしょう。

水試調査情報(平成23年コウナゴ漁期前調査)

・水産試験場では1月下旬から旬1回の頻度で調査船「拓水」によるコウナゴの採捕調査を行い、稚魚の発生と加入状況を調査しています。

・1月下旬(24日～26日)の調査では、相馬、双葉、いわきの3定線で採捕された稚魚の尾数は昨年を下回る結果となっています。

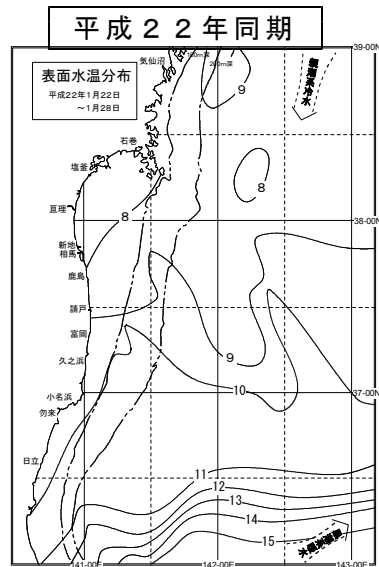
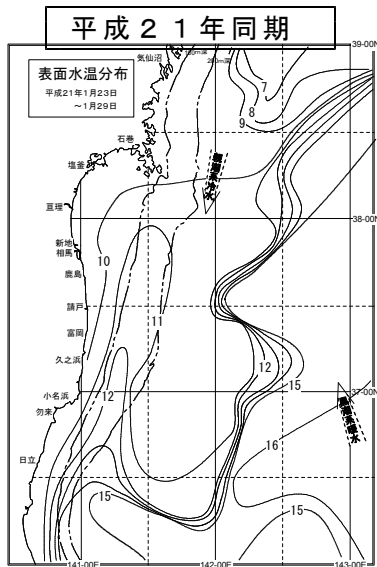
・稚魚のサイズは10mm未満が主体で、昨年同時期と比べ小さめのものが採捕されています。

・今回の結果ではコウナゴの発生時期が遅れていると考えられますが、今後の調査で詳細を明らかにしていきます。

・コウナゴの調査船調査は漁期前、解禁後も継続し、結果を漁業関係者へ提供します。

※調査結果は福島県水産試験場ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

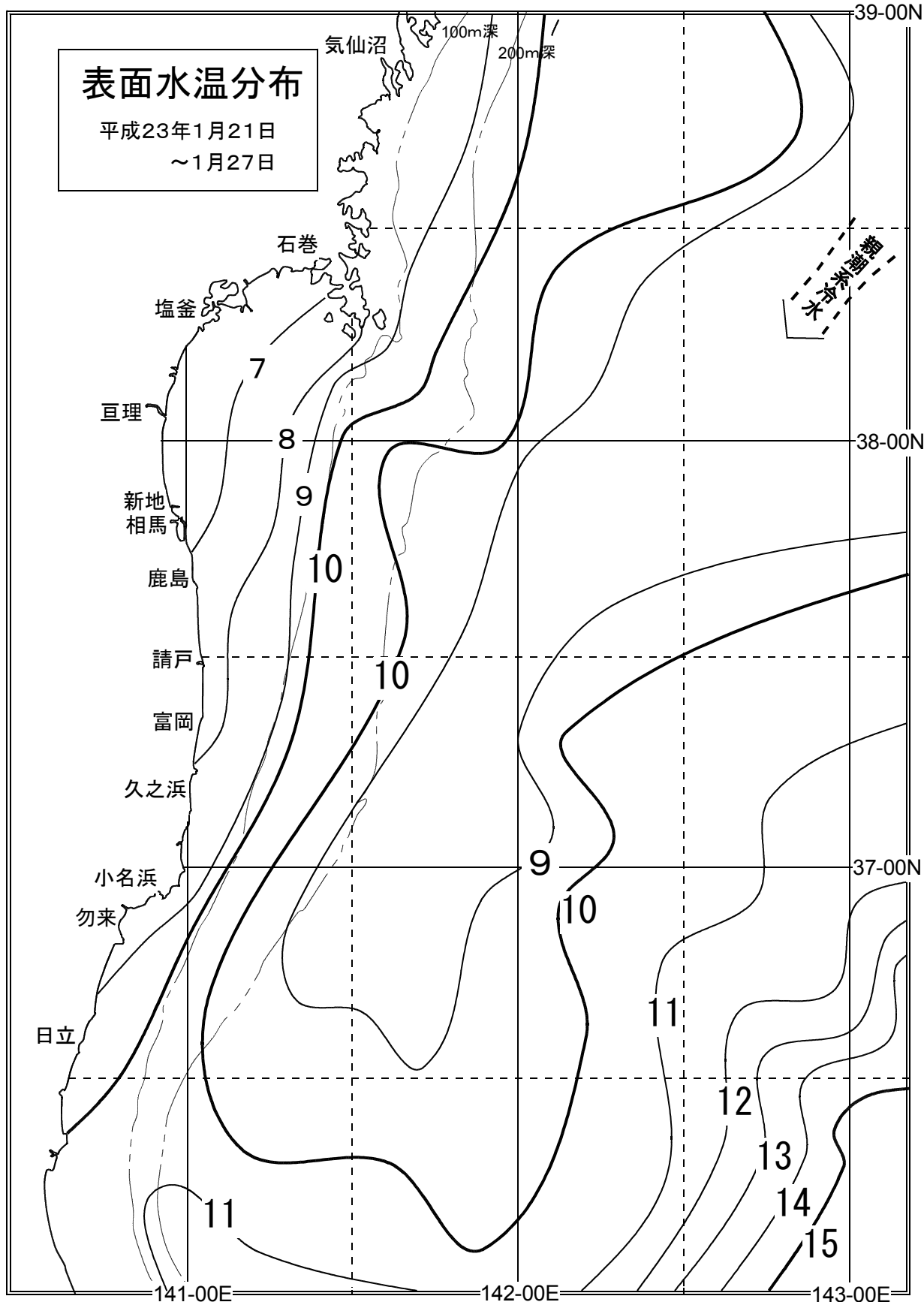
定地・定点水温の推移(℃)			
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦
1/21	8.5	8.0	6.3
1/24	8.2	8.1	6.4
1/25	7.8	7.4	6.3
1/26	8.3	7.5	6.8
1/27	8.5	7.3	6.7



表面水温分布

平成23年1月21日

～1月27日



漁海況速報

No.4

平成23年2月4日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

宮城県水産技術総合センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水は前週よりやや勢力を弱め、本県海域50海里以内には9℃台が広く分布しているが、親潮由来の8℃台が一部みられる。
- ②黒潮系暖水の勢力は弱く、本県沿岸域への目立った波及はみられない。
- ③定地水温は、大熊、松川浦では前週より1℃降温し、小名浜では前週並み。小名浜、大熊では平年より2℃低く、松川浦では平年より1℃低い。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の勢力は現状並みかやや強まるでしょう。
- ・黒潮系暖水の勢力は現状並みに弱いでしょう。

水試調査情報(平成23年コウナゴ漁期前調査)

・2月1日～3日にかけてコウナゴ漁期前調査を実施しましたので、結果の概要についてお知らせします。

・小名浜、請戸及び相馬の各海域の調査点で、中層トロール網とまるちネットを曳網しコウナゴを採捕しました。

・中層トロール網ではコウナゴ稚魚の採捕尾数は少なく、小名浜では採捕されませんでした。まるちネットでは相馬で合計550尾、請戸で合計15尾を採捕しました。

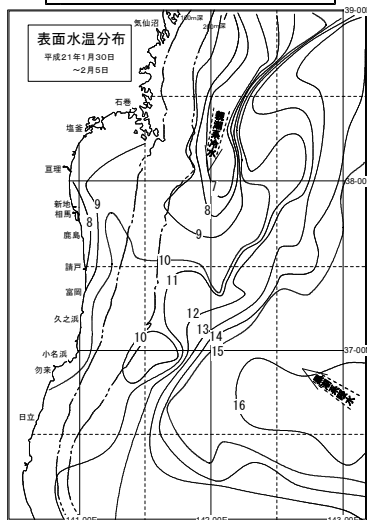
・コウナゴのサイズは3mm～16mm(最頻値5mm)で、前回調査(1月下旬)よりやや大きめのサイズでした。昨年同時期と比較するとかなり小さいサイズでした。

・例年に比べサイズが小さいことから、今年のコウナゴ稚魚は発生時期が遅れていると考えられます。

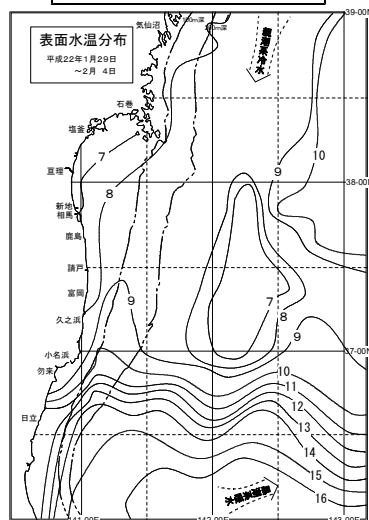
・現時点で漁獲サイズの加入時期を推定することは困難ですが、昨年(3月中旬)より遅れることが予想されます。

※詳細は福島県水産試験場ホームページをご覧ください。

平成21年同期



平成22年同期



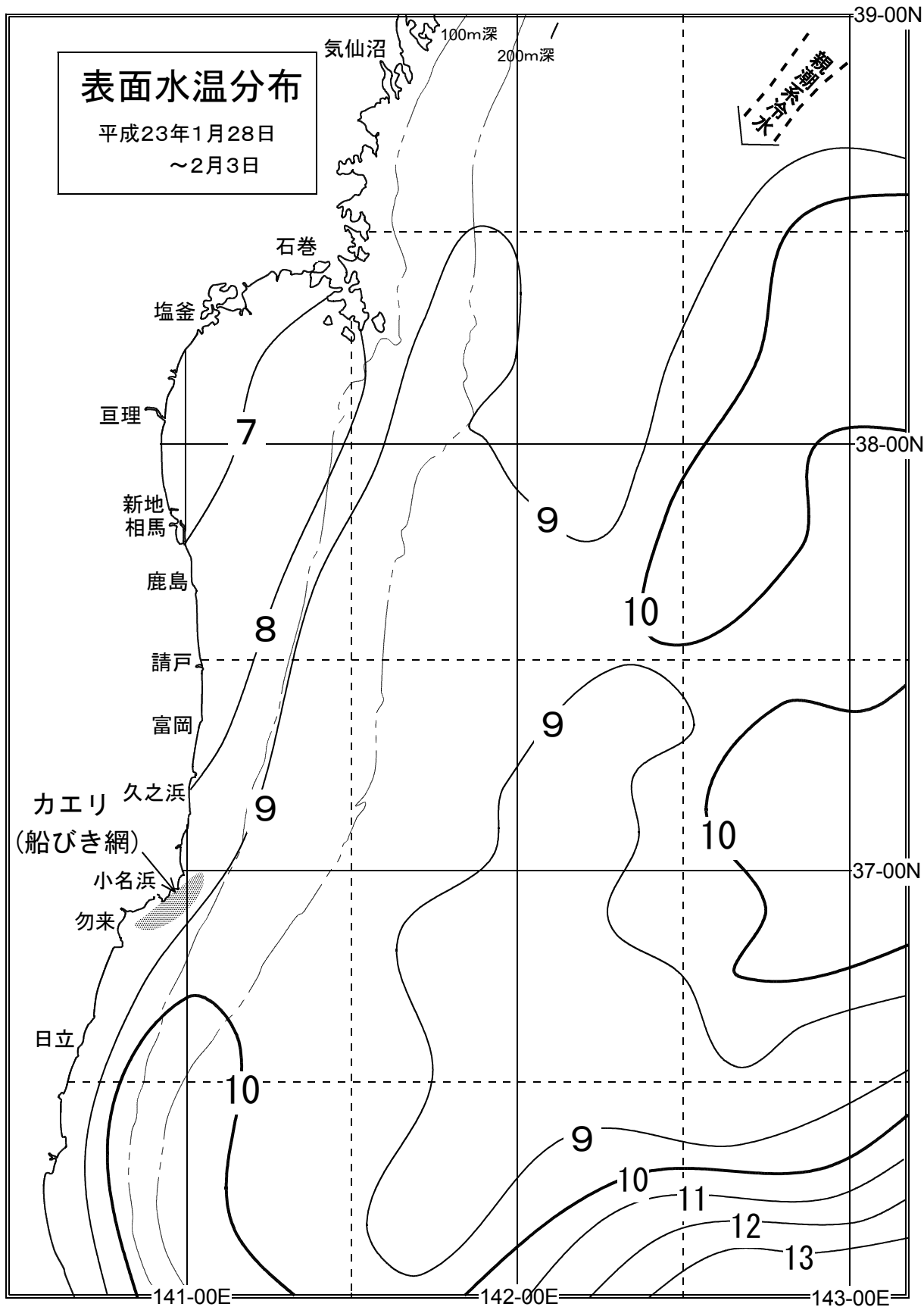
定地・定点水温の推移(℃)

場所	小名浜	大熊	松川浦
月日			
1/28	8.4	7.1	6.5
1/31	7.4	7.0	5.8
2/ 1	7.7	7.4	5.7
2/ 2	7.9	7.2	5.6
2/ 3	8.0	7.1	6.2

表面水温分布

平成23年1月28日

～2月3日



漁海況速報

No.5

平成23年2月10日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

宮城県水産技術総合センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水は弱く波及し、本県海域には9℃台が広く分布している。
- ②黒潮系暖水の勢力は極めて弱く、本県沿岸域への目立った波及はみられない。
- ③定地水温は、小名浜、大熊では前週並みで、松川浦では前週より1℃降温した。小名浜、大熊では平年より1℃低く、松川浦では平年並み。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の勢力は現状並みでしょう。
- ・黒潮系暖水の勢力は現状並みに弱いでしょう。

漁況情報(ホッキガイ)

- ・1月末で終漁したホッキガイの水揚げ状況についてお知らせします。
- ・平成22年漁期の水揚げ数量、金額及び価格は以下のとおりです。

地区	区分\漁期	平成21年	平成22年	H22/H21(%)
いわき	数量(トン)	200	209	105
	金額(百万円)	46	52	112
	価格(円/kg)	231	247	107
相双	数量(トン)	509	426	84
	金額(百万円)	150	131	87
	価格(円/kg)	295	308	104
県合計	数量(トン)	709	635	90
	金額(百万円)	196	183	93
	価格(円/kg)	277	288	104

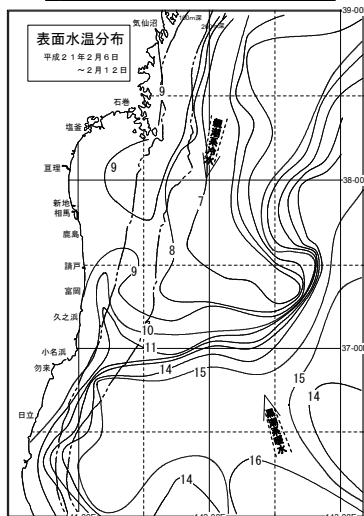
平成21年漁期:平成21年6月~平成22年1月末

平成22年漁期:平成22年6月~平成23年1月末

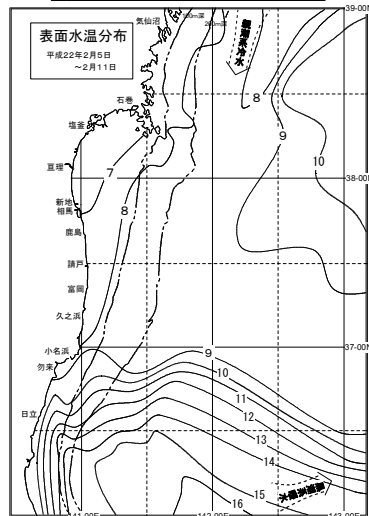
※平成22年漁期の数値は県水産資源管理支援システムの速報値

- ・全県的に資源水準が低く価格も安いことから、操業を見合わせる地区がみられました。
- ・いわき地区では数量および金額とも前年より若干増加しましたが、相双地区では数量、金額ともに前年の9割弱に止まりました。
- ・県全体では水揚げの多くを占める相双地区の水揚げ減少が影響し、数量、金額とも前年の9割程度となりました。

平成21年同期



平成22年同期

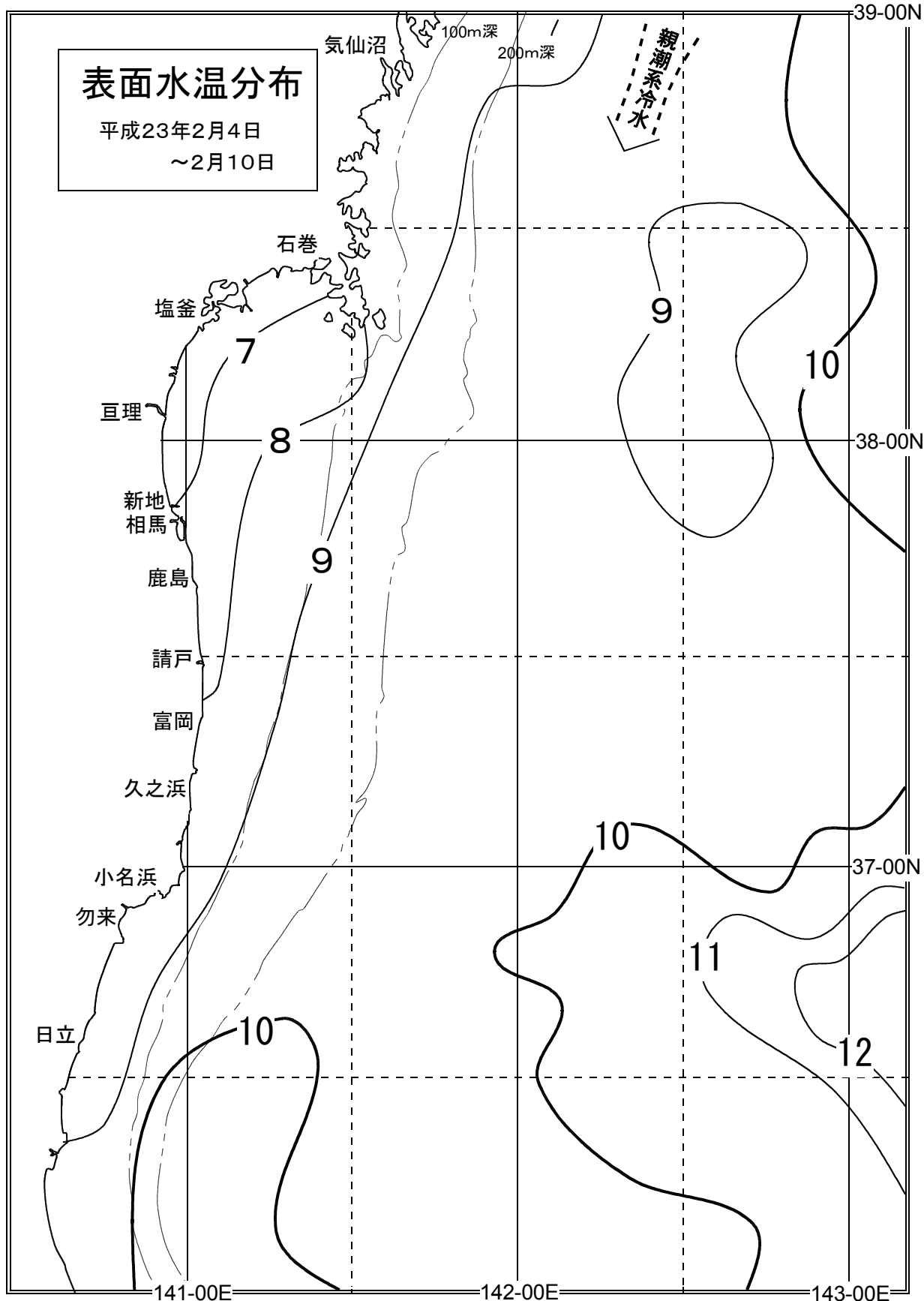


定地・定点水温の推移(℃)

場所	小名浜	大熊	松川浦
月日			
2/4	8.0	7.4	6.8
2/7	8.4	7.5	7.1
2/8	8.3	7.4	6.5
2/9	8.6	7.4	6.6
2/10	8.0	7.1	6.4

表面水温分布

平成23年2月4日
~2月10日



漁海況速報

No.6

平成23年2月18日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

宮城県水産技術総合センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水は県北海域の50海里付近から弱く波及し、本県海域50海里以内には7~9℃台が分布している。
- ②黒潮系暖水の本県沿岸域への目立った波及はみられないが、県南海域の50海里より沖合には潮境が形成されている。
- ③定地水温は、小名浜では前週並みで、大熊、松川浦では前週より1℃降温した。小名浜、大熊では平年より2℃、松川浦では平年より1℃低い。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の勢力は現状並みでしょう。
- ・黒潮系暖水の勢力は現状並みに弱いでしょう。

水試調査情報(コウナゴ漁期前調査)

・2月14日と2月16日に実施しましたコウナゴ漁期前調査の結果についてお知らせします。

・小名浜、請戸及び相馬の各海域の調査点で、中層トロール網とまるちネットを曳網しコウナゴを採捕しました。

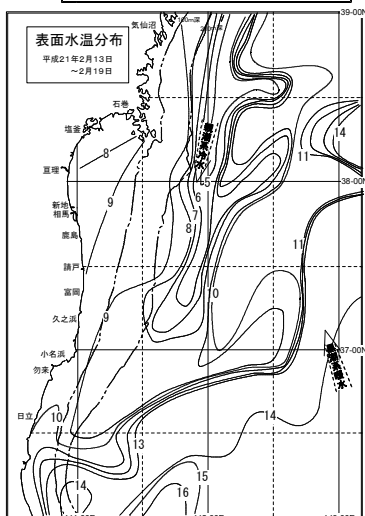
・請戸と相馬では中層トロール、まるちネットとも前回調査(2月初旬)より多くのコウナゴが採捕されました。また、前回調査で分布が確認できなかった小名浜でもコウナゴが採捕されました。

・コウナゴのサイズは請戸、相馬とも前回調査より大きくなりましたが、昨年同時期に比べると小さくなっています。

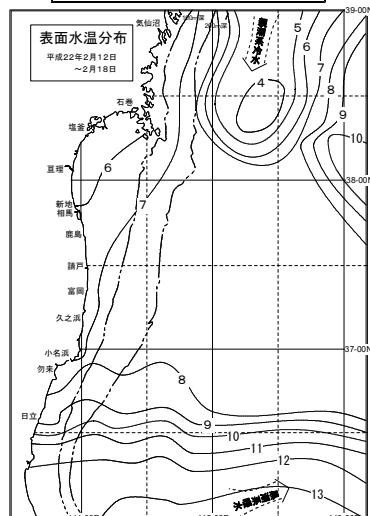
・請戸、相馬では採捕尾数は増えていますがサイズが小さいことから、漁獲加入時期は昨年(3月中旬)より遅れることが予想されます。

※詳細は福島県水産試験場ホームページをご覧ください。

平成21年同期



平成22年同期

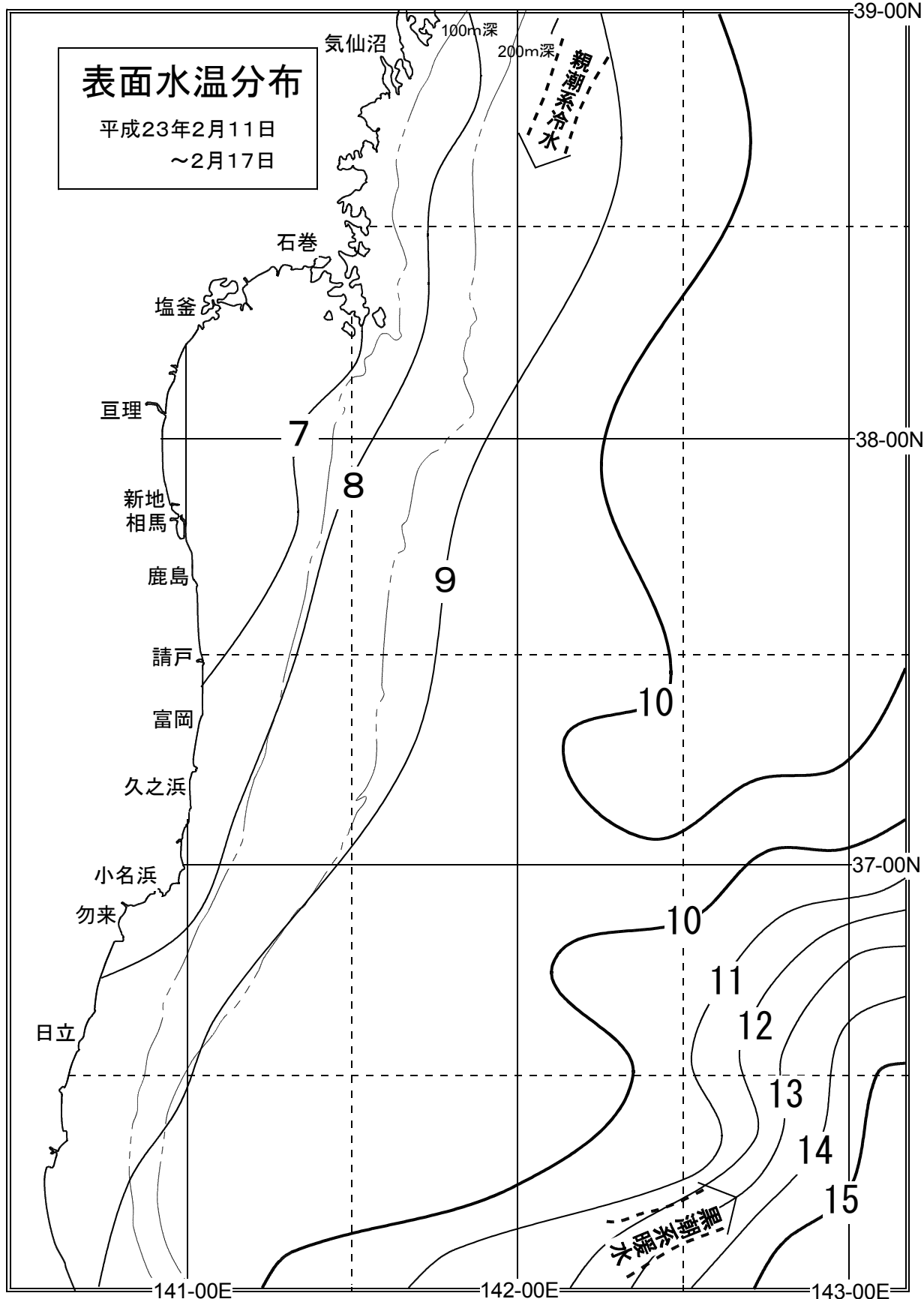


定地・定点水温の推移(℃)			
場所	小名浜	大熊	松川浦
月日			
2/11	—	—	—
2/14	7.9	6.5	5.1
2/15	7.8	6.7	6.7
2/16	7.9	6.6	6.1
2/17	8.1	6.9	6.4

表面水温分布

平成23年2月11日

～2月17日



漁海況速報

No.7

平成23年2月25日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

宮城県水産技術総合センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水は前週と同様に県北海域の50海里付近から弱く波及し、本県海域50海里以内には7~9℃台が分布している。
- ②黒潮系暖水の勢力は依然弱く、本県沿岸域への目立った波及はみられないが、県南海域の50海里より沖合には潮境が形成されている。
- ③定地水温は、小名浜では前週並みで、大熊、松川浦では前週より1℃昇温した。小名浜、大熊では平年より1℃低く、松川浦では平年並み。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水は現状並みの勢力で波及するでしょう。
- ・黒潮系暖水の勢力は現状並みに弱いでしょう。

海洋観測結果(平成23年2月)

・平成23年2月21日~23日に調査船「いわき丸」で実施した海洋観測結果についてお知らせします。

- ・本県海域には南部まで親潮系冷水が弱く波及し、30海里より沿岸では低め基調の水温となっています。また、北部海域の50海里より沖合では高め基調の水温となっています。
- ・塩屋崎定線では表層、100m深とも平年並みから平年よりやや低めの値が観測され、定線全体では平年よりやや低めとなりました。
- ・富岡及び鵜ノ尾埼では30海里以内で平年よりやや低めの値が観測されましたが、定線全体では平年並みとなりました。
- ・海域全体では「平年並み」となりました。

(単位:℃)				
観測水深	定線	観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	8.87	-0.07	-1.43
	富岡	8.56	+0.17	-0.81
	鵜ノ尾	8.47	+0.27	+0.38
	全体	8.63	+0.12	-0.62
100m深	塩屋	8.45	+0.36	-0.40
	富岡	8.41	+0.32	+0.04
	鵜ノ尾	8.67	+1.31	+0.98
	全体	8.49	+0.58	+0.09

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

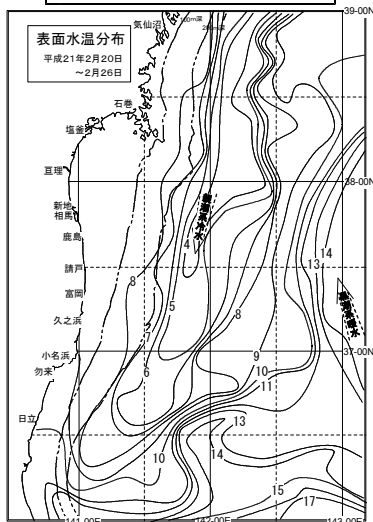
〔平年差の表現基準〕

平年並み	0~±0.9℃
やや高め(低め)	±1.0~2.4℃
高め(低め)	±2.5~3.9℃
極めて高め(低め)	±4.0℃~

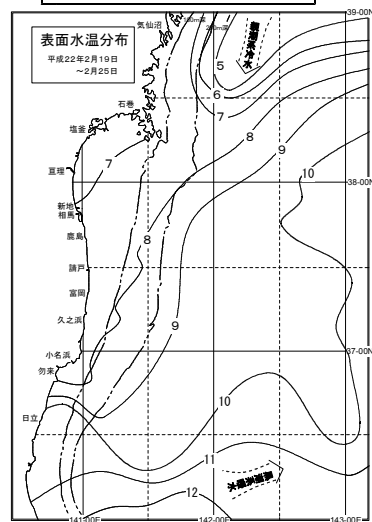
定地・定点水温の推移(℃)

場所	小名浜	大熊	松川浦
月日			
2/18	8.4	7.4	6.9
2/21	8.0	7.1	6.6
2/22	7.9	7.2	6.8
2/23	7.9	7.6	6.7
2/24	8.3	8.1	7.7

平成21年同期



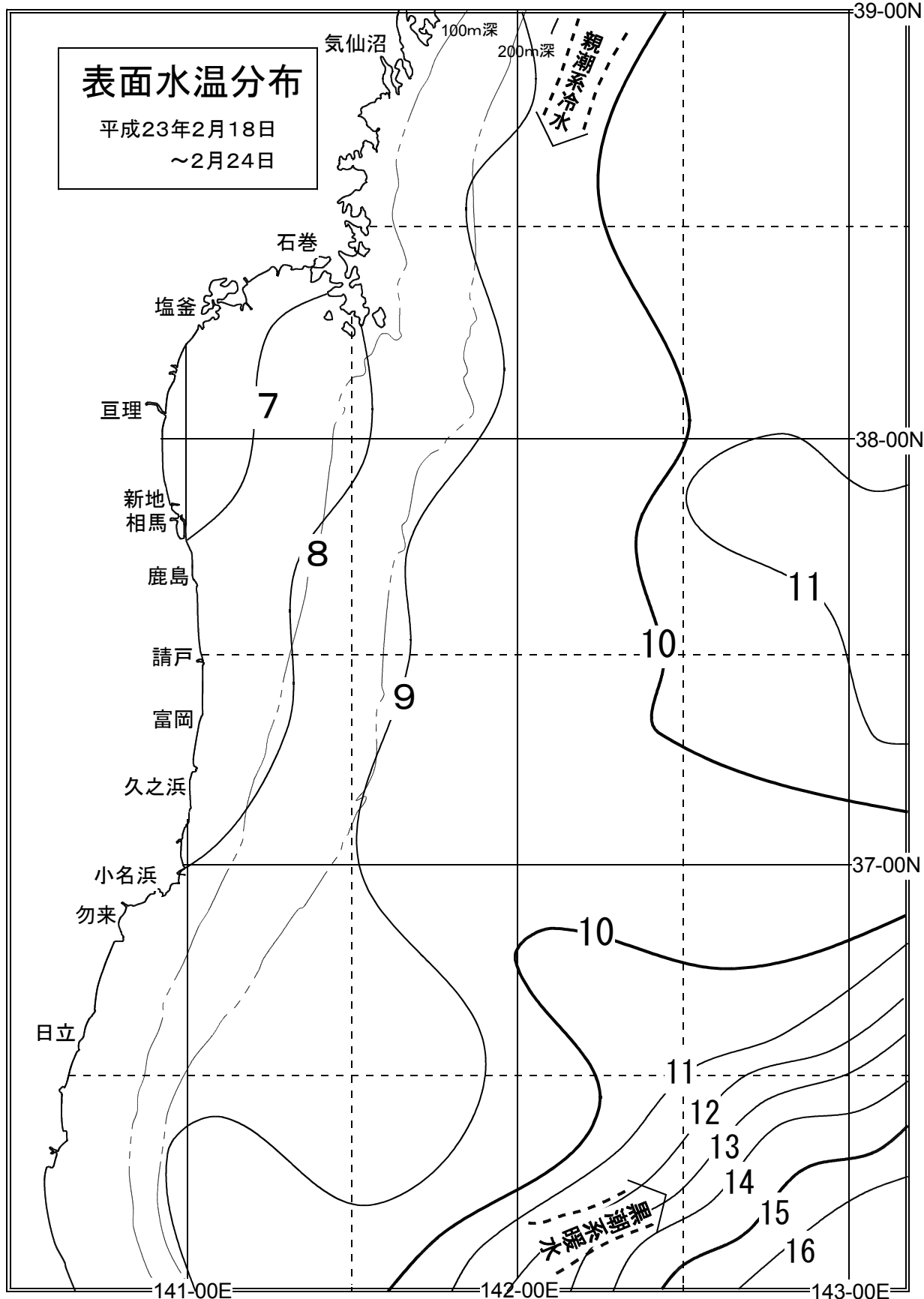
平成22年同期



表面水温分布

平成23年2月18日

～2月24日



漁海況速報

No.8

平成23年3月4日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

宮城県水産技術総合センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

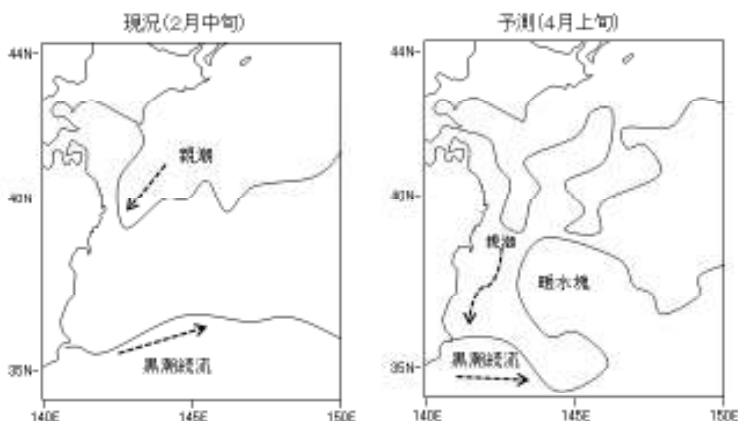
- ①親潮系冷水は弱く波及し、本県海域50海里以内には7~8℃台が広く分布している。
- ②黒潮系暖水の勢力は依然弱く、本県沿岸域への目立った波及はみられないが、県南海域の50海里付近には10℃台の水塊が分布している。
- ③定地水温は、小名浜、大熊、松川浦とも前週並み。小名浜、大熊では平年より1℃低く、松川浦では平年並み。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水は現状並みの勢力で波及するでしょう。
- ・黒潮系暖水の勢力は現状並みに弱いでしょう。

海況情報(東北海域の2~4月の海況予報)

・2月21日に、(独)水産総合研究センター東北区水産研究所他から発表された「東北海区海況予報」は次のとおりです。
(100m深水温現況図・予測図を福島水試が改変)

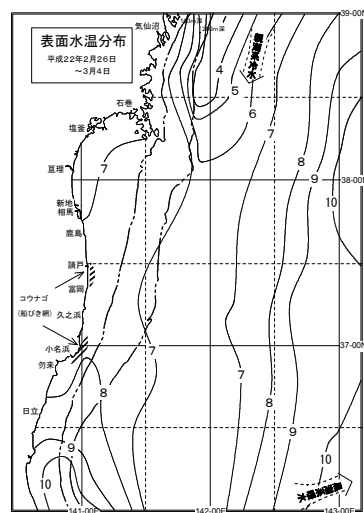
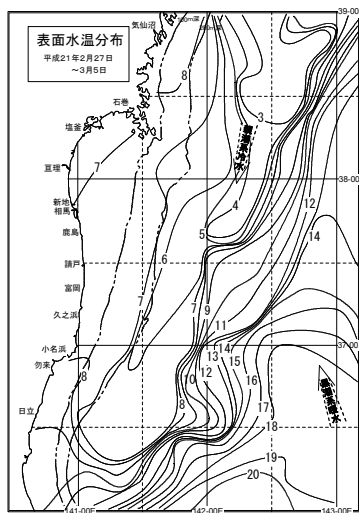


(説明) 予測図(4月上旬)では親潮系冷水の南下傾向が強まり、冷水の波及は常磐海域南部までみられる模様です。また、黒潮続流の北偏により常磐海域では沖合からの暖水波及を受けることもあるでしょう。

平成21年同期

平成22年同期

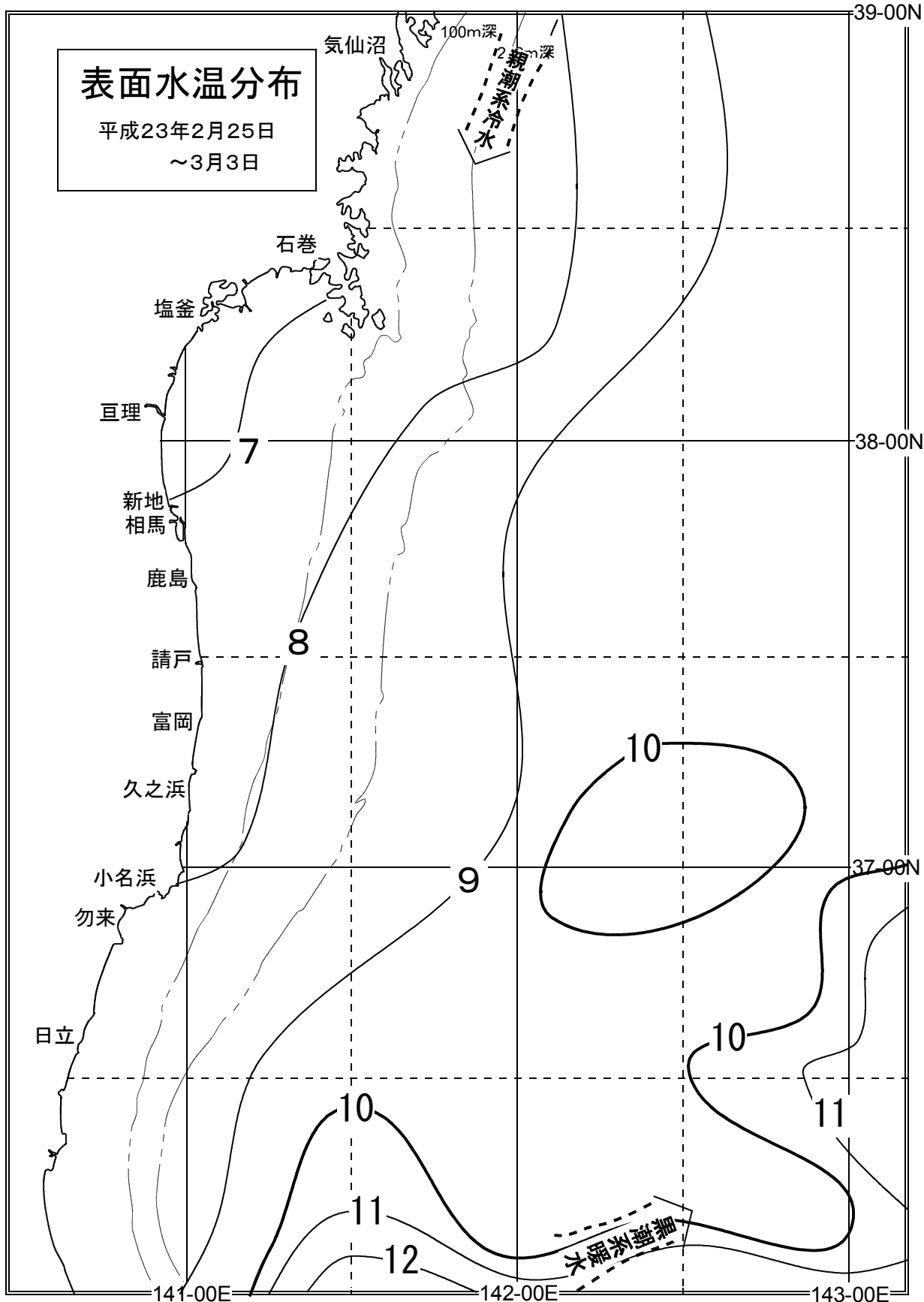
定地・定点水温の推移(℃)			
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦
2/25	8.5	8.5	8.6
2/28	8.0	7.9	7.5
3/1	8.2	7.5	7.0
2/2	8.4	7.7	6.7
2/3	8.1	7.4	5.6



表面水温分布

平成23年2月25日

～3月3日



漁海況速報

No.9

平成23年3月11日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

宮城県水産技術総合センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水は県北海域の50海里付近から弱く波及し、本県海域50海里以内には7~8℃台が広く分布している。
- ②黒潮系暖水の勢力は依然弱いですが、県南海域の50海里以内に10℃台の暖水が波及している。
- ③定地水温は、小名浜、大熊では前週並みで松川浦では前週より1℃降温した。小名浜、大熊松川浦とも平年より1℃低い。

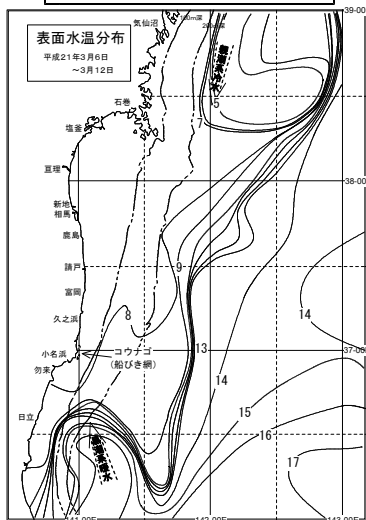
見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の勢力は現状並みかやや強まるでしょう。
- ・黒潮系暖水の勢力は現状並みでしょう。

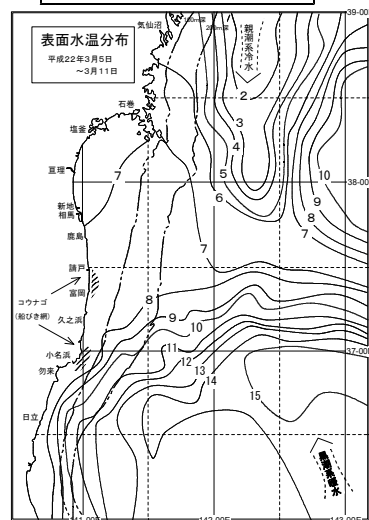
コウナゴ漁期前情報

- ・3月になり本県の各地区ではコウナゴ漁の準備が進んでいます。
- ・相馬地区では漁業者による試験操業が行われました。採捕されたコウナゴはサイズが小さいため、当地区の解禁日について漁業者と加工業者との間で協議が行われています。
- ・いわき地区の一部では数隻が操業しましたが、水揚げが少ないうえ、サイズが小さく価格が安いことから操業を見合わせている模様です。
- ・3月上旬に相馬沖と小名浜沖で水産試験場が調査した結果でも、コウナゴのサイズは全長20mm台未満が多く昨年同時期と比べて小型です。
- ・水産試験場では3月中旬以降も調査を実施し、漁獲加入時期に関する情報を提供します。商品サイズのコウナゴがまとまって加入する時期の解禁が望まれます。

平成21年同期



平成22年同期

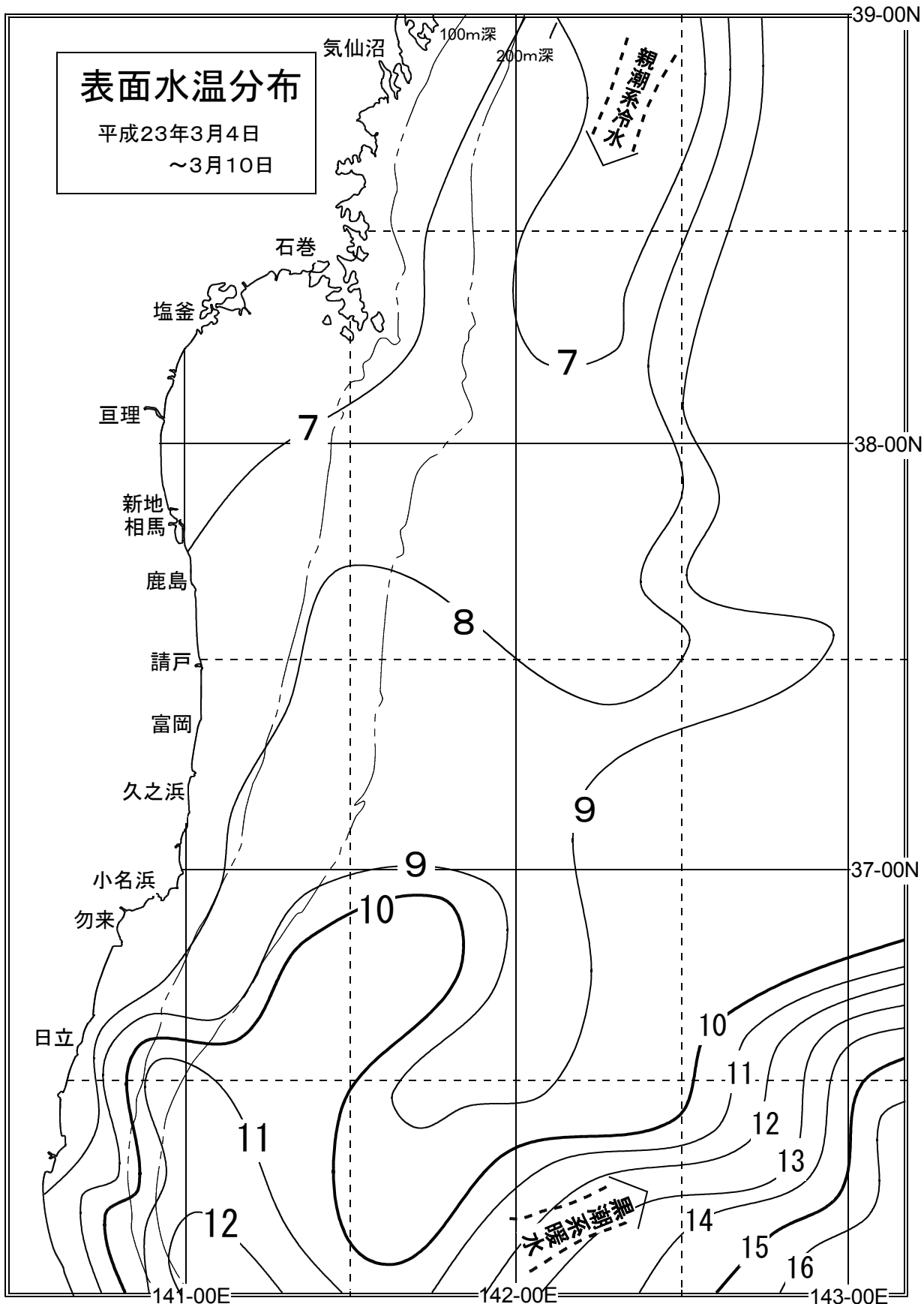


定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小 名 浜	大 熊	松 川 浦
3/ 4	7.8	7.2	4.9
3/ 7	8.4	7.8	6.7
3/ 8	7.9	7.3	6.2
3/ 9	8.2	7.5	6.4
3/10	8.2	7.8	6.1

表面水温分布

平成23年3月4日
～3月10日



漁海況速報

No.10

平成23年4月22日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水は北部海域のごく沿岸域から波及し、本県南部海域50海里付近に7℃未満の冷水域が分布している。
- ②黒潮系暖水は本県海域の50海里内に波及し、冷水域の南端では潮境が形成されている。
- ③定地水温は、小名浜、松川浦とも平年より1℃低い。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の勢力は現状並みでしょう。
- ・黒潮系暖水の勢力は現状並みに強いでしょう。

この度の大地震で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

残念ながら、当水産試験場も津波により相馬支場が全壊し、調査船いわき丸は沈没して失いました。

本県では震災以来、原子力発電所の事故の影響もあり、漁業が行われておりません。この「漁海況速報」は6週間ぶりの発行となります。

他県において漁業再開の報道がなされるたびに、本県の漁業者の方々の悔しい思いをひしひしと感じております。

しかし、本県沖合を含む仙台湾から鹿島灘にかけての海域は日本有数の漁場であり、豊かな資源がある以上漁業は必ず復興します。

水産試験場では、調査機材を整備し、大震災により大きく変化したと思われる磯根や松川浦などの沿岸漁場環境の調査、漁業資源の動向、さらに本県水産物の放射能測定のためのサンプリング等から業務に取り組んでまいります。

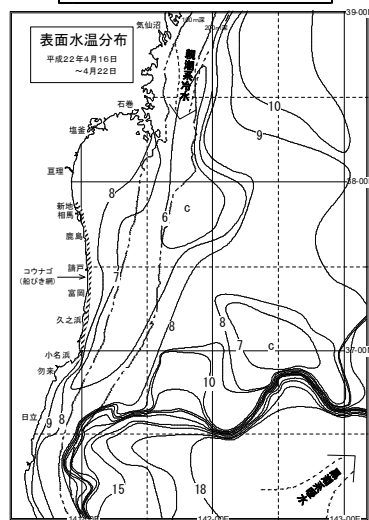
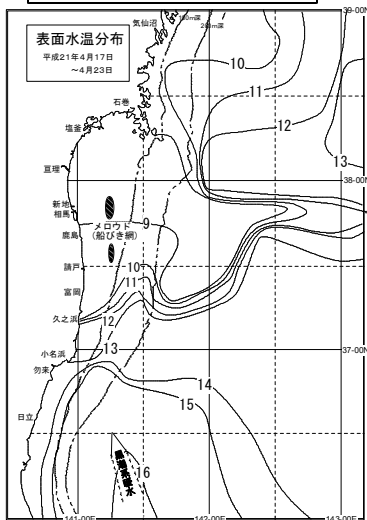
本県水産業の一日も早い復興を目指し、そのための水産研究機関としての役割を果たしてまいりますので、今後とも御協力くださるようお願いいたします。

福島県水産試験場長 五十嵐 敏

平成21年同期

平成22年同期

定地・定点水温の推移(℃)			
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦
4/15	—	—	—
4/18	12.4	—	11.8
4/19	11.6	—	11.4
4/20	10.5	—	8.9
4/21	11.3	—	10.0



表面水温分布

平成23年4月15日
～4月21日

